

# 身近に迫る危機 耐震を通して身を守る

(社)福岡市耐震推進協議会 会長 白水 秀一 氏

東日本大震災からはや1カ月が経過した。ここぞと離れた福岡においても、予期せぬ自然災害に備え、緊要感が高まっている様子がうかがえる。そのなかで、最優先に考えるべきことは被害が起きるからどう生活をするかではなく、被害をどう最小限にとどめるかということである。いざ、地震が起きてからでは遅い。その前に我々ができる準備とは何か。(協任)原統工房らしんばん代表取締役後(社)福岡市耐震推進協議会会長の白水秀一氏に、住宅の耐震問題についてうかがった。

## 高まる耐震診断の需要

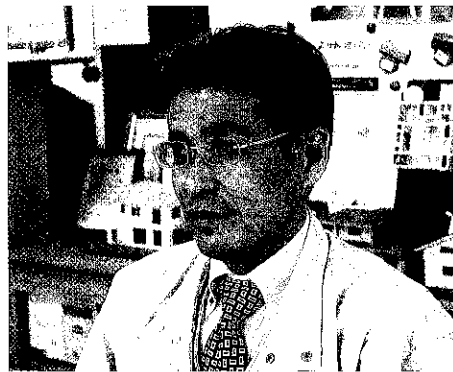
—まず、福岡市耐震推進協議会について教えてください。

白水 福岡市耐震推進協議会は、2007年9月に設立された。木造戸建住宅の耐震診断から耐震補強工事まで、一般消費者の耐震に関する相談に対応している団体です。

設立経緯としては、06年の西の方地震以降、福岡市に対して耐震診断、耐震補強工事に関する問い合わせが増え、それに対応するための団体が必要というところで市側から要望がありました。そして、それまで耐震工事に力を入れてきた5社が集まって設立することとなりました。

—耐震診断の実績を教えてください。

白水 初年度と2年目の実績が



(社)福岡市耐震推進協議会 会長 白水 秀一 氏

約90件、3年目が120件でした。今期はまだ途中ですが、200件を超える勢いです。

耐震診断の需要が高まっている理由として、ニュー・ジブラントでの地震や今回の東北の地震の影響はあると思います。実際に3月11日以降の問い合わせは、急激ではないですが、多少は増えています。ですが、こちら側が思うほど、耐震を意識される方というのはいくらもありません。

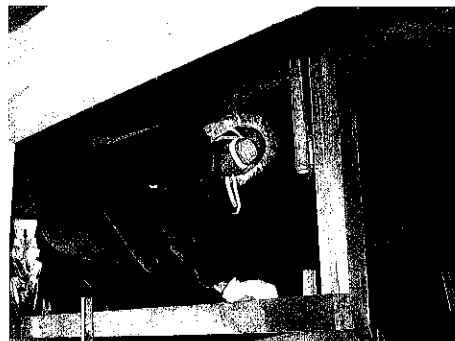
—3年目の実績が120件と200件の診断をされて、そのうちどれくらいが耐震補強の必要性がある建物でしたか。

白水 120件中の約95%は耐震基準に引かかる建物でした。現在の耐震基準で30年前、40年前の建物を評価すると、100%に近い確率で補強の工事が必要になってきます。8年6月11日を境に新しい基準になりましたので、丸々30年経った家は古い基準の建物ということになります。残りの5%というのは、基本的に新しい基準で建てられた家、平成に入って以降に建てられた家ほとんどです。

## 2社体制でくまなくチェック

—耐震診断の方法、その後の流れを教えてください。

白水 当協議会の会員は5社(協任)原統工房らしんばん、協ダイニチ、協マリナホーム、協藤建設、清興建設)ですが、基本的にメインとサブの2社でチームを組んで耐震診断の依頼があったお宅に訪問します。2社で行く理由は、メインが行なった診断に対して見落としがないかどうかのチェック機能を持たせること、より精度の高い診断をすることにあります。診断をして、後日、診断の結果報告と耐震補強工事の計画書、併せて見積りを依頼者にお渡



耐震検査の様子

しします。1件あたりは3000円です。

補強工事については、強要、強制するようなものではありません。ただ、福岡市として15年までに耐震化率を90%、また、国としても、20年までに95%という目標がありますので、行政としては耐震診断だけでなく、その後の工事に促さってほしいという思いはあるでしょう。現実問題として、耐震診断後に補強工事を行なうのは2割程度です。

—耐震診断ではどの部分を重点的に調べるのでしょうか。とくに留意している点について教えてください。

白水 大きなポイントが3つあります。1つ目は、地震の揺れに踏ん張るための壁の量です。床から天井まで繋がった壁と、壁のある壁とがありますが、壁があるうえの壁は踏ん張りが効きません。床から天井に繋がった壁が東西方向、南北方向に決められた基準で足りているか否かが重要になります。壁の量の充足率と言えはわかりやすいでしょ

う。つまり、壁だらけの家は耐震に問題があるとは限りません。

2つ目は、壁のバランスを配置です。単純に壁が多い家の方が強く、窓だらけの家は弱い。また、壁がどこか一部分に集中している、建物は変形をすくなくなるので、壁が少い部分に壁を補わなければなりません。窓を潰して壁を増やす方法や、耐震ボードを張って弱い壁を補強する方法などがあります。東西南北にバランス良く、踏ん張ることができる壁が配置されているかが、ポイントになります。

3つ目は、老朽化・劣化です。これは新築を評価するときにはない評価軸です。たとえば、築30年以上の建物であれば、その間にどれだけ劣化をしたか。壁や基礎にひび割れがないか、シロアリの被害にあっていないかなどを調べます。

これらのポイントに留意して診断を行い、点数を付けます。点数が「1.0」をクリアしていれば、基準に合致している。補強の心配はないとい